

新法人・テストセンター着工・新しい体制
新しい地域おこし協力隊等 現在合計13名

沼田町に新しい風

本年4月から指定管理者として新たな法人が立ち上がり、いよいよ工業団地にも新たな建物が建設されます。農業関係でも新しい体制がスタートし、うれしいニュースが続いています。

また地域おこし協力隊も4月1日から新たに3名加わるなど新たな人材とアイデアで今後の地域活性化に期待をしています。

販路拡大に期待

コーミ北のほたるファクトリー

トマトジュースやトマトケチャップ等を製造する沼田町農産加工場を4月1日(木)から、町と業務提携を結んでいる、コーミ(株)(名古屋)が新しく設立した「コーミ北のほたるファクトリー株式会社」に指定管理委託しました。

町とコーミ(株)は2012年に協定を結んでから技術支援を受けケチャップなどの商品を作ってきており、加工用トマト生産日本一を目指す当町と商品の増産を考えているコーミ(株)の想いが一致し、今回の指定管理となりました。

現在のトマト製品市場は全国的に消費者の健康志向から、国産トマトを使った製品が人気の一方、加工用トマトの生産量は年々減少しており、加工用トマトの産地である沼田町とトマト商品開発技術のあるコーミ(株)が手を組み、今後のトマト商品増産へ向けて共に進んでいきます。

コーミ(株)の川澄亮太社長は「新会社は、沼田町と共に発展していきたい。従業員、お客様そして沼田町民の3者が良い方向に進むようがんばっていきたく」と話されました。



横山町長と川澄社長



地域おこし協力隊

大竹 将太さん



札幌市出身で釣りや楽器演奏、登山など趣味が多様な大竹さんは産業創出課所属で観光支援員として勤務しています。幌新地区で進めている自然学校設立に向けての準備をしています。

テストセンター工事着手

ハイテクセンター

沼田工業団地に土地を所有しているハイテクセンター株式会社（旦尾紀人代表取締役社長）のテストセンター建設に係る地鎮祭が、3月16日（火）現地で行われました。

このテストセンターは、ローカル5Gに対応した基地局や端末などの通信基盤の低コスト

トナシステムなどの実証試験等を行う施設で、旦尾社長は「今回の建設によって地元の経済、雇用が少しでも発展していく役割を果たしたい。ローカル5Gの世界で、日本で一番を走っていきたい」と述べられました。



新規就農の受け入れ

アグリファーム

新規就農希望者の研修から就農までを一貫支援することを目的とした「ぬまたアグリファーム」が4月1日（木）発足しました。JAや土地改良区、農業者が一体となり受け皿を設けることで、農業人材を円滑に呼び込み定着に

繋げようというものです。

この日行われた総会で横山町長が会長に就任し「沼田農業の核となる人材を育成し、特製を活かした農作物のブランド化を図りたい」と述べました。



西片 寛貴さん



札幌市出身で北海道を一周したいという夢を持つ西片さんは、農業推進課農業支援員として（有）須網農場に勤務しています。

これから農業を一から勉強していきたい、様々な作物を作っていきます。

梅村 麻由さん



北広島市出身で煮物料理が得意な梅村さんは、農業推進課農業支援員として、（株）ITFに勤務します。

特に花が好きで、生産現場からきれいな花をお客様に届けられるよう勉強していきます。